

岩川光 quena

梅井美咲 piano

※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2022 **06月08日(水)**

開場 19:30 afternoon live

開演 20:00

(2ステージ入替なし)(1drink 600～)

MC=3500+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



梅井美咲

2002年生まれ。4歳よりピアノ、6歳よりエレクトーン。作曲を始める。その後、数々のピアノ、エレクトーンコンクールにて入賞。2018年、6/22～24blue note tokyoにて上原ひろみ、熊谷和徳、kendrick scott oracle、各氏が出演した「blue giant nights」にオープニングアクトとして出演。北海道グループキャンプ2019にてberklee awardを受賞し、7月から8月上旬までボストンのバークリー音楽院にて行われたberklee 5 week summer programにfull scholarshipで参加。県立西宮高等学校音楽科作曲専攻を卒業。クラシックの作曲を学ぶ傍ら、ポピュラーからジャズまで幅広いジャンルの作曲と演奏に取り組み、独自の音楽性を探究している。現在ヤマハ奨学金支援制度音楽奨学支援生。現在、東京音楽大学作曲指揮専攻。

岩川光

他の追随を許さぬ圧倒的な演奏技術で「ケーナの革命者」と呼ばれる世界最高峰のケーナ奏者にして、幅広い音楽言語を吸収し、独創的な作品を生み出し続ける作曲家。9歳よりケーナを始め、12歳より演奏活動に入る。10代を通してリコーダー演奏、作曲、指揮法を学ぶ。こうした知見と技術を活かして生み出した独自のケーナ奏法は世界的な話題を呼び、これまでのケーナのイメージを覆す演奏を展開。南米・ヨーロッパを中心に音楽祭出演や数々のツアー公演、ディノ・サルーシ、故ハイメ・トーレスら世界的巨匠との共演、キケ・シネシとのデュオ、古楽アンサンブル「カペラ・メディテラネア」のソリストとして参加したラジオ・フランスでの公演などを通じ、幅広い分野で国際的に高い評価を得る。録音作品も非常に多く、またその内容はバラエティに富み、国内外の専門誌で年間ベストに選出されるなど好評を博す。常に世界規模で複数のプロジェクトを展開。近年テレビや舞台の音楽録音を通じ、日本のお茶の間でもその音を耳にする機会が増えている。現代の作曲家との協働、古代楽器の演奏復元、製作家として新モデルの開発など、その活動は多岐にわたる。また南米を中心にマスタークラスの開講も多い。2013年よりブエノスアイレスに暮らすも、新型コロナウイルスで2020年8月一時帰国。2022年1月には、クラシック演奏家の登竜門として名高い東京オペラシティ主催の名物企画『B→C』にケーナとしては史上初の出演を果たし、各方面より惜しみない賞賛を得た。